



.ブランド.

モスクワ

都市の起業家の対外経済活動の発展は、モスクワ政府の重要な課題の一つです。



モスクワ

都市の起業家の対外経済活動の発展は、モスクワ政府の重要な課題の一つです。

起業家精神と資本の革新的な発展の部門に従属するモスクワ輸出センターは、すでに外国貿易を開発しているか、新しい国際市場に参入することを計画している企業を支援するための幅広い措置を実施しています。

2020年の地域の非一次非エネルギー輸出量



39,9億 ドル

これは2019年よりも30%多いです。

2020年の需要が最も多かったのはどの製品部門ですか？非金属材料および製品（\$1.7億、成長+69%）医療および医薬品（\$503百万、成長+39%）食品産業（\$1.0億、成長+5%）カザフスタン、ベラルーシ、中国、インド、ウクライナは、最も頻繁にこれらの製品は何ですか？カザフスタン共和国-乗用車、洗剤、クリーニング製品ベラルーシ共和国-アルミ線、乗用車、ヘア製品中華人民共和国-ターボジェットエンジン、特殊車両、コンピュータブロックインド-非光学測定および制御装置、ラジオおよびテレビ機器の部品、ターボエンジンの部品ウクライナ-医薬品、紙および厚紙、香水およびトイレ水いくつかの輸出産業は特に強調する価値があります:そう、大幅な増加は、技術製品の販売、ITプロジェクトの国際的な開発、広い範囲の商品の供給によって実証されました消費。

ハイテク製品の輸出

2020年には、海外のモスクワ企業のハイテク製品の売上高は44%増加しました。金融面では、ボリュームはreached30億に達しました。この業界の商品の主な輸入業者は、西ヨーロッパ、CIS、東アジア諸国です。同時に、ハイテク製品の全ロシア輸出の構造におけるモスクワのシェアは30%以上です。

ITサービスの輸出

ロシア連邦中央銀行によると、モスクワは通信、コンピュータ、情報サービスの輸出の点でロシア連邦の地域の中で最初にランクされています。



2020年、ロシアからのITサービスの輸出は34億ドル（2019年と比較して+28.8%）に達しました。同時に、ロシアからのITサー

消費財の輸出

2020年には、モスクワで生産された消費財の輸出量が増加した。トップ輸入国には、カザフスタン共和国、ベラルーシ共和国、ウクライナ、ウズベキスタン、中華人民共和国が含まれ、これらの国はすべての外国供給の65%以上を占めていた。ほとんどの場合、資本企業は洗浄製品、ヘア製品、化粧品をこれらの国に輸出しました。

2020年のIECの財政的支援は次のとおりです。

500 ミリオン
"ルーブル美術館"

これは2019年の7倍以上です

数字でのIECのサポート

これらの指標には、既存の輸出業者に発行された補助金と助成金が含まれています。これは2019年の7倍です。モスクワ輸出センターでサポートされているユニークな企業数は5倍に増加しています。すでに海外で物資を販売している企業は、認証、適応、製品の特許、管理システムの認証、輸送の費用を返済するか、少なくとも6万ルーブルの契約の下で"輸出

モスクワ輸出センター は、2020年に起業家の輸出 可能性をどのように発展さ せましたか？

モスクワ企業のためのビジネスミッションの組織モスクワ輸出センターは、市内の企業のために13のビジネスミッションを実施しました。2019年は5試合に出場したのみであった。METは、交渉や翻訳サービスの組織を含むビジネスミッションのビジネスコンポーネント全体に対して支払います。今年、首都の起業家は、日本、アゼルバイジャン、インドネシア、中国、ベトナム、韓国、モロッコ、バーレーン、ドイツ、オーストリア、サウジアラビアおよびその他の国からのパートナーに自社製品を提示することができます。合計で、IECはモスクワの250以上の企業のビジネスミッションへの参加に資金を提供し、そのために外国のバイヤーとの約1,400のビジネス会議が組織

世界中の専門展示会への参加の資金調達2020年には、モスクワの企業は26の展示会に参加しました。その中には、米国、ドイツ、フランス、シンガポール、英国、ケニア、スペイン、アラブ首長国連邦、ポルトガル、ベトナム、インドネシア、CIS諸国で最大のプロフパンデミックのために、それらのほとんどすべてがオンライン形式で開催されましたが、METZは475社の潜在的なバイヤーと数百の会議を開催しました。2020年、モスクワ輸出センターは、市内の映画制作者、医療機関、ITプロジェクト、建設会社、食品業界の企業を展示会で支援しました。

モスクワの70企業の輸出可能性を高めるための加速プログラムは、今年モスクワ州立大学SkolkovoとFRIIのアクセラレータによって実装された加速プログラムその結果、参加者数は29人から70人に2倍以上増加しました。また、すでに市場での販売を開発している起業家のためにEuropages.com、加速プログラムの電子商取引の成功は、140以上のアプリケーションが提出されたために組織されました。

モスクワの起業家のオンライン輸出の開発今年、モスクワ輸出センターは、市内の企業のオンライン貿易の発展を積極的に支援しました。すでに電子プラットフォームに取り組んでいますEuropages.comとAlibaba.com 起業家は、市場で販売するときに追加のマーケティングの利点を与えるプレミアムステータス、と330以上のアカウントを与えられました。さらに、今年は、外国貿易契約の締結が保証されたサポートプログラムが初めて開始されました。50のモスクワ企業が人気のある中国のTmallプラットフォームに配置されました。その中には、お菓子、健康的なスナックやバー、小麦粉、インスタントシリアルなどの食品メーカーがあり、年間モスクワ輸出センターの支援を受けて中国最大の電子プラットフォームに無料で商品を置いて販売することができる他の企業もあり



ます。



モスクワ輸出センターからの支援
の受信者に提供される12,671サー
ビス

モスクワの既存の輸出業者のための財政支援は、で増加しました

7
一度

輸出業者のモスクワ学校の 教育プログラム

輸出者のモスクワ学校は、モスクワ輸出センターの一部であり、外国市場での開発を計画している都市の企業のための無料のウェビナーや会議を実施。その結果、約10,000人がイベントの参加者になりました！また、2020年の授業数は、2019年と比較して24%増加しました。

外国貿易問題に関する個人 的な相談

モスクワ輸出センターは、モスクワの起業家のための個人的な輸出相談に資金を提供しています。企業は、最も興味深いトピックを選択し、専門家に質問し、対外経済活動に関する詳細なコメントを受け取ることができます。2020年には、初めてIECプログラムが開始され、5月から12月にかけて



て92の協議が開催されました。

潜在的なバイヤーの選択

モスクワ輸出センターは、市内の起業家のために興味のある外国のバイヤーを選択するマッチメイキングの専門家を採用しています。このサービスはモスクワの企業には無料です。2020年の結果によると、潜在的なバイヤーの連絡先は160の首都圏企業で発見されました。

輸出カタログへのモスクワ企業の配置

モスクワの企業の提案は、Made in Moscow電子カタログを通じてMETのウエ

ブサイトで見つけることができます。カタログには、生産の12支店に関する情報が含まれています。2020年末には、3145社のカードがモスクワ輸出センターのカタログに掲載されました。



2020年のモスクワからのITサービスの輸出は、次のようになりました

3,4億
ドル

これは2019年よりもほぼ29%多いです



フルシン-アレクセイ-アナ トリエヴィチ

MoskvyDataの都市の起業家精神と革教育：モスクワの土地管理の州立大学は、ロシア連邦大統領の下で行政の
新的な開発の部門のヘッド生まれ:December1,1974

ロシアアカデミーで学んだ。1998年-2000年：連邦土地局の主任専門家、顧問、土地政策に関するロシア連邦国家委員会の国務省土地局の次長として国務省と地方自治体の土地で働く。2000年-2004年：ロシア連邦財産関係省の土地政策部門の土地改革と規制と方法論的支援部門の立法作業部門の長と土地改革部門の次長の地位を保持して2004年-2007年：部門の次長として連邦財産の管理のための連邦機関の不動産および動産の管理に取り組んでいます。2007年-2008年：連邦国家統一企業"株式と商品情報技術のための連邦コンピュータセンター（FT-センター）"の総局における土地と地域開発の状態の所有権の区 2008年-2015年：土地資源と不動産の部門での作業マネージャーとして、その後、住宅開発支援のための連邦基金（"RZHSファンド"）で第一次長として。





メイド・イン・ロシア・プロジェクトは、デジタル取引とメディアのプラットフォームです。メイド・イン・ロシアの12カ国語によるビジネス情報機関や、海外での商品やサービスの販売・宣伝を行うデジタル商社などが含まれています。プラットフォームに登録された企業は、Made in Russiaプロジェクトのロゴの使用権、ロイヤリティプログラム、サービス、施設へのアクセス権を得ることができます。



ブランドページ

<https://monolith.madeinrussia.ru/ja/catalog/3373>

pr@madeinrussia.ru